

問題

AutoCAD ファイル読み込み時のウィザードの具体的な使い方を教えてください。

対象製品

V-nasClair・V-nas シリーズ 全般

V-nas 専用 CAD シリーズ 全般

回答

ウィザード画面での操作について図面データの読み込み例を4例紹介します。

対象コマンド：

[標準]：[ホーム] タブ - [ファイル] カテゴリ - [開く] コマンド

[クラシック]：『ファイル - 開く』コマンド

[アドバンス]：[ファイル] タブ - [開く] コマンド

最初に

AutoCAD ファイルを読み込む際には読み込み条件を指定するために”ウィザード”を表示します。

そのため、『設定 - ファイル変換 - AutoCAD 変換』コマンドの[入力設定]タブ内の[ウィザードを表示する]チェックボックスにチェックを付けておく必要があります。

または、『開く』コマンドの[ファイルの種類]を AutoCAD ファイルで指定している場合は、右下にある[ウィザードを使用]にチェックを付けておく必要があります。

操作方法：

ウィザード表示および大まかな操作手順（Step1~5）は以下のとおりです。



その他確認事項：



[2点距離計測]ボタン
 プレビュー上で指示した2点間の距離が計測できます。
 『計測値』は実寸距離、『用紙上の距離』はスケールを考慮した距離 となります。

例：1/100 スケールの図面にて上で寸法が3000mmの場合
 計測値は『3000』
 用紙上の距離は『30』となります。

※プレビュー上でマウスホイールを回転させる事により表示拡大・縮小ができます。

以降ページにて AutoCAD ファイル読み込み例を4例紹介します。

- 例1：図面上から情報を確認して読み込む場合
- 例2：モデル空間とレイアウト空間の両方が存在する AutoCAD データの読み込む場合
- 例3：ウィザード上のサイズは良いが、プレビュー上で用紙サイズから図形がずれてしまう場合
- 例4：図面上に複数図面が存在し、内1枚の図面を用紙枠に合わせたい場合

例1：図面上から情報を確認して読み込む場合

AutoCAD データの読み込みでは、全要素が用紙に収まる様に自動でスケールが決定されます。

そのため、よりシンプルに用紙サイズの枠合わせを行うためにも、あらかじめ図面スケールを確認する方法が有効です。

※本操作は AutoCAD データがモデル空間のみの場合に使用いただけます。

手順

1. プレビュー上の図面よりタイトル・表題を確認し”用紙サイズ”と”スケール”を確認します。
2. [用紙サイズ]カテゴリにて確認したサイズに変更します。
3. [スケール]カテゴリにて確認した図面スケールに変更します。(スケールがない場合は[追加]ボタンより追加してから変更します) ※上記手順でも合わない場合、[単位]カテゴリにて『mm』⇔『m』に変更します。)
4. [OK]ボタンを選択します。



例2：モデル空間とレイアウト空間の両方が存在する AutoCAD データの読み込む場合

モデル空間とレイアウト空間がある AutoCAD データは一般的にモデル空間が“実寸スケール”、レイアウト空間が“図面スケール”となっています。そのため、読み込み時もモデル空間とレイアウト空間のスケール関係を崩さないように取り込む必要があります。

※本操作は図面がモデル空間上に実寸スケール（1/1）で作成されている場合に使用いただけます。

手順

1. 『開く』コマンドより図面を読み込みます。
2. “モデル空間”を選択します。（チェックを外さないように注意）
3. モデル空間は実寸スケールで取り込む必要があるため、スケールを『1/1』に変更します。
4. [OK]ボタンを選択します。



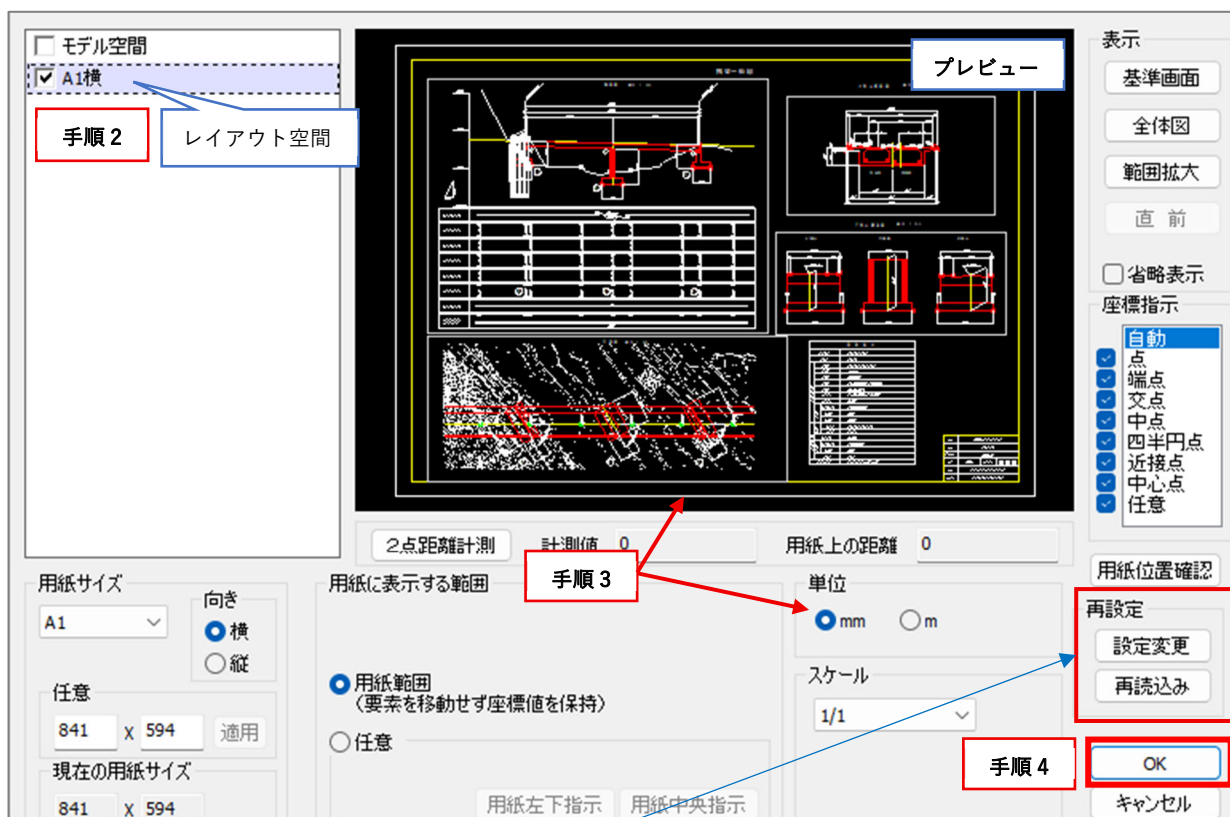
プレビュー表示は、用紙サイズの図枠と読み込む図面の位置を合わせるためのものであるため、スケールを実寸である 1/1 スケールに設定した場合は用紙サイズとの差が大きく開くため、正しくされない場合があります。

図面要素全体を確認したい場合は[図面全体]ボタンを選択します。

また、モデル空間が不要で、レイアウト空間の図面のみを読み込みたい場合は以下のような手順となります。

手順

1. 『開く』コマンドより図面を読み込みます。
2. “モデル空間”のチェックを外し、レイアウト空間のみチェックがつくようにします。
3. プレビューに図面全体が表示されていることを確認します。表示されない場合、[単位]を切り替えて状況が改善するか確認します。
4. [OK]ボタンを選択します。



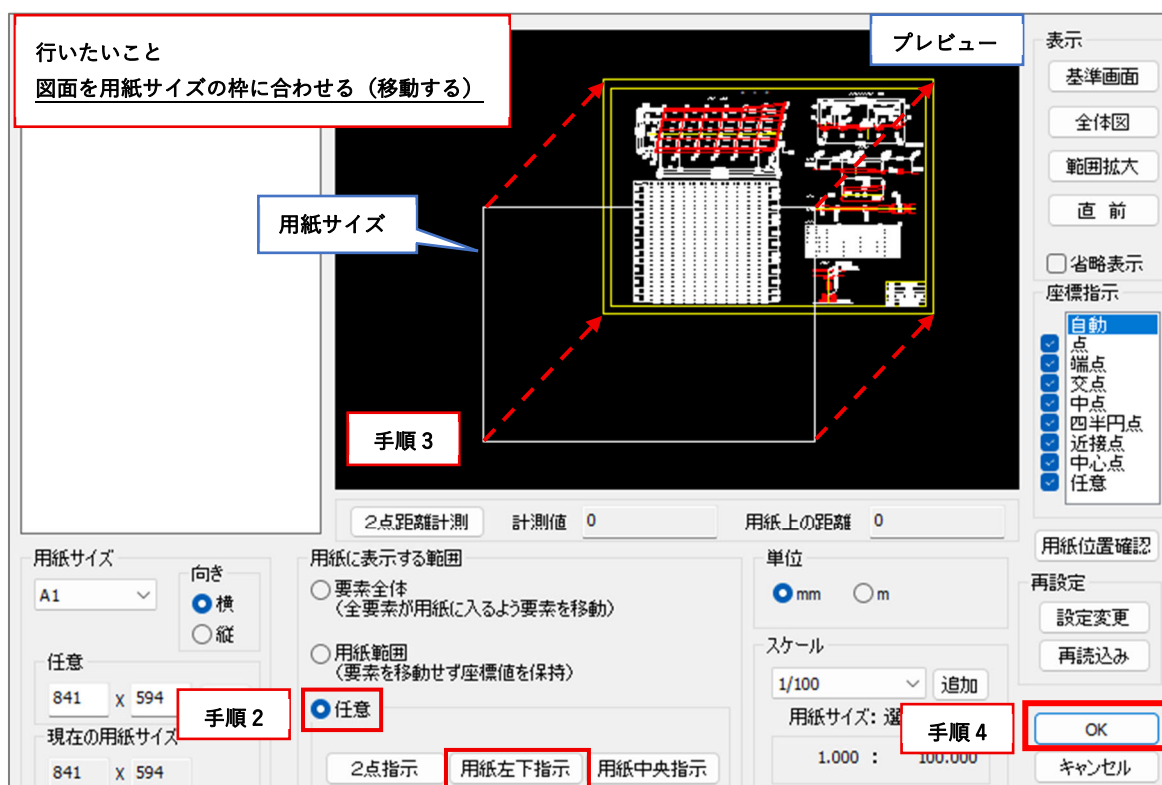
手順2にて、読み込みしたい図面を選択する際にチェックが外れない場合は[設定変更]ボタンから[ビューポート]カテゴリを「分解」に変更してください。

※設定後は必ず[再読み込み]ボタンを選択し更新します。

例3：ウィザード上のサイズは良いが、プレビュー上で用紙サイズから図形がずれてしまう場合
あらかじめ設定した用紙サイズに収まるように図面を移動したい場合に利用します。

手順

1. あらかじめスケールを合わせ、プレビュー上の図面を用紙サイズと同じにします。
2. [用紙に表示する範囲]カテゴリの『任意』を選択し、[用紙左下指示]ボタンを選択します。
3. 用紙サイズ枠をマウスで動かせるので、図面左下角で合わせます。
4. [OK]ボタンを選択します。



用紙サイズの枠は、ウィザード左下の[用紙サイズ]カテゴリで大きさを調整します。
また、この枠は読み込み後に『基準印刷枠』となります。

例4：図面上に複数図面が存在し、内1枚の図面を用紙枠に合わせたい場合

AutoCADデータの読み込みでは、全要素が用紙に収まる様に自動でスケールを決めます。

そのため、用紙サイズの枠合わせは手動で行う必要があります。

以下の例では、

3つの図面は本来1/20スケールですが、すべて収まるスケールが1/60であるため、[スケール]カテゴリも『1/60』となっております。

手順

1. [用紙に表示する範囲]カテゴリの『任意』を選択し、[2点指示]ボタンを選択します。
2. プレビュー上で、用紙サイズ枠と併せたい図面を拡大します。



手順2で図面を拡大する場合、右上にある[表示]カテゴリから[範囲拡大]ボタンを利用する方法が有効です。操作方法は、2点で範囲選択した箇所を拡大します。

3. 図面枠角を対角2点指示で範囲選択します。
4. [OK]ボタンを選択します。



<注意事項>

2点指示の操作でも図面枠が一致しない場合、合わせるスケールが登録されていない可能性があります。その場合、[スケール]コンボボックス横にある[追加]ボタンより図面のスケールを追加してください。